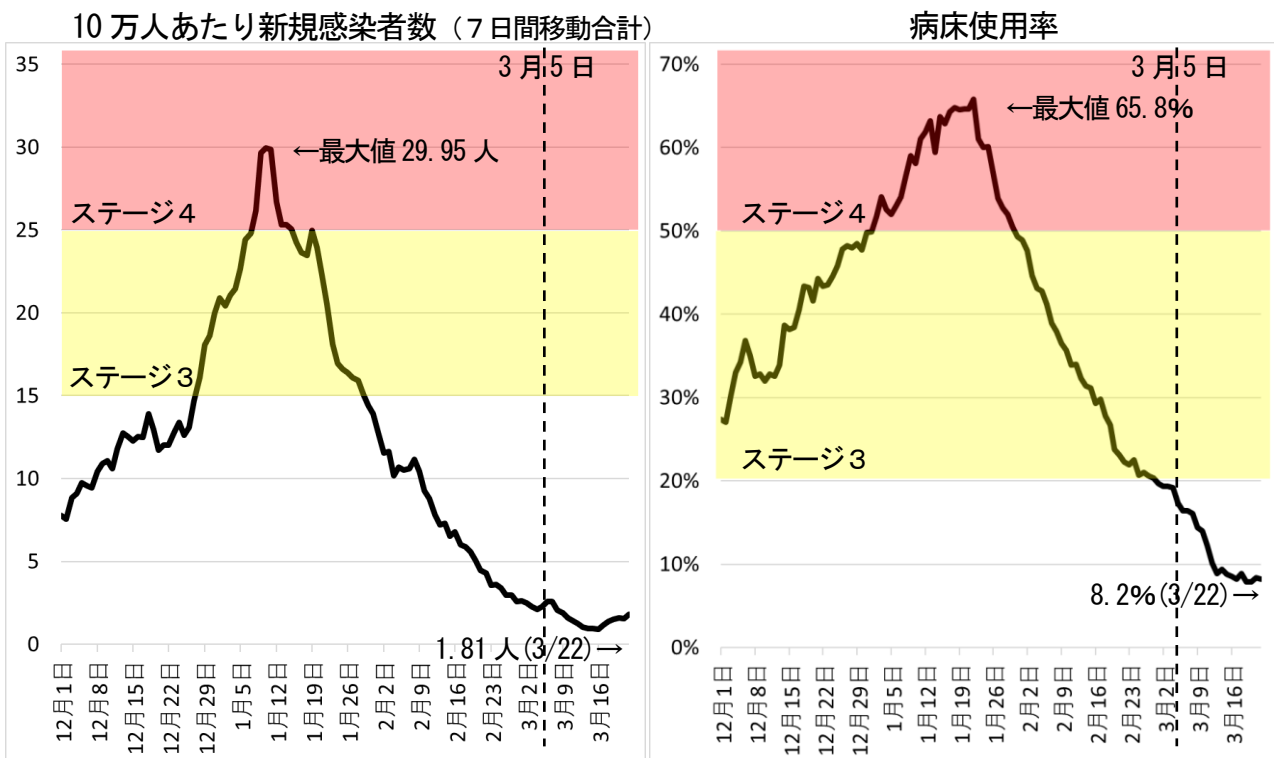


新型コロナウイルス緊急対策（3月8日～4月上旬） ～第3波の終息を目指すとともに、再拡大を阻止～ 【中間レビュー】

令和3年3月23日
岐阜県新型コロナウイルス感染症対策本部

1 本県の緊急事態宣言解除後、3月5日には県の「緊急対策」を決定しました。その後、新規感染者数、病床使用率とも減少傾向が継続しています。

- 新規感染者数**（人口10万人あたり 7日間移動合計）
 最大 29.95人(1/10) → 2.27(3/5) → 1.81人(3/22)
- 病床、宿泊療養施設使用率**
 - 病床：最大 65.8% (1/21) → 16.4%(3/5) → 8.2%(3/22)
 - 宿泊療養：最大 41.8%(1/11) → 1.2%(3/5) → 0.0%(3/22)
- 国基準ステージ2以下を維持**（新規感染者数1/30以降、病床使用率3/1以降）



2 しかし、県独自指標では2項目が超過し、完全に下がり切っておらず、第3波は終息していません。

本県独自設定の基準指標の状況（3月22日現在）

項目	基準数値	現況	基準比較	備考
新規感染者数	7人以上 (7日間移動合計)	<u>35人</u>	<u>基準を上回る</u>	昨年10月13日から
検査陽性率	7%以上 (7日間移動平均)	1.4%	基準を下回る	1月5日から
感染経路不明者数	5人以上 (7日間移動合計)	<u>15人</u>	<u>基準を上回る</u>	昨年10月30日から
入院患者数	60人以上	57人	基準を下回る	3月18日から
重篤者数	3人以上	0人	基準を下回る	昨年4月22日から

3 加えて、緊急事態宣言は3月21日をもって全て解除されたものの、

- ・ 「変異株」の県内確認は増加（6グループ19人：3/22時点）
- ・ 県内死亡率は上昇傾向（死亡率2.5%、うち70歳以上は14.4%）
- ・ 昨年の教訓として、感染リスクの高い春の行事があり、全国的な人の移動が多く、職場や学校の区切りとなる今後1か月は**嚴重注意の季節**
- ・ ワクチン接種は3月から医療従事者向け優先接種を開始。今後4月中旬から高齢者向け優先接種を開始予定であるものの、**ワクチンの供給は限定的**。その後の一般向けは日程未定。
- ・ 首都圏（1都3県）について**下げ止まりのなかでの緊急事態宣言の解除**。**東日本で感染拡大傾向**〔特に宮城県、北関東（群馬・栃木・茨城）〕
- ・ 無症状・軽症が多い若者にあっても**後遺症に苦しむケース有り**

など、脅威は存在し、決して警戒を緩めてよい状況ではありません。

4 こうした状況から、引き続き油断なく、「第3波の終息」を目指してさらに感染を抑え込み、「再拡大を阻止」する必要があります。

(1) 以下を重点として「緊急対策」を進めてまいります。

① 「変異株」スクリーニング検査の強化・徹底

- ・ 直近で新規感染者のうち、国の方針（早期に40%程度まで引き上げ）を上回る約7割超に対し実施。
- ・ 今後さらに強化、徹底。

② 予防的検査は新年度から拡大

- ・ 岐阜市の高齢者施設の従事者を対象に実施中。今後、地域・対象施設を拡大し、ワクチンがいきわたるまでの間、集中して実施。
- ・ 可児市の外国人パブ等に対する検査についても、今後地域を拡大。

③ ワクチン接種の着実な推進

- ・ 医療従事者に続き、今後高齢者の優先接種を順次開始。
※ 医療従事者向け優先接種は、8,021人(12.3%)に対し、1回目を接種済(3/22時点)

④ 「年度末、年度始めの飲食を伴う行事の注意喚起」

- ・ 感染リスクの高い歓送迎会、花見の宴会、飲食を伴う謝恩会及びこれに類するものについては徹底回避。
※ 特に、「花見に伴う宴会自粛」については市町村と連携し、花見の名所において「宴会禁止」看板、張り紙、放送などの呼びかけの徹底を要請済。
- ・ クラスタ発生店舗に対して、ガイドライン遵守を働きかけ、再開前、再開後の現地調査を感染症の専門家と共に実施。

(2) 県内の感染状況等が悪化し、国の基準「ステージ3」相当となった場合などには、速やかに対策を見直します。

(3) 今後、本対策の期間終了時には、全国的な人の流れが多くなる5月の大型連休に備えた対策を決定してまいります。

5 県民の皆さまには、現在まで感染状況が落ち着いてきたことについて、深く感謝申し上げますと共に、引き続き感染防止対策についてご理解、ご協力をお願いいたします。